



家庭の化学薬品に関する安全

Fact Sheet 23 – Community Risk Management. Revised 1/11/2005

事実

2001年には、入院を要する服毒事故が 4,858 件ありました。そして、多くの犠牲者は子どもでした。オーストラリア児童事故予防財団（Child Accident Prevention Foundation of Australia）は、一週間に約 50 人の子どもたちが服毒により入院していると発表しています。化学薬品は製造産業や重工業で使用されているだけではなく、私たちの日常生活の一部でもあるのです。台所や風呂場を掃除するための製品、衣服や食器を洗う製品、害虫を駆除したり、庭を肥沃にする製品、ペンキ、車や家具のつや出し、スイミングプールの塩素、ガソリン、エンジンオイル、ブレーキ液、LP ガスなどはすべて化学薬品なのです。

家にあるのに化学薬品とは認識されていない製品はたくさんあります：

□ 石鹸、シャンプー、デオドラントや香水、薬、風邪薬、処方薬、ビタミン剤、漢方薬、有機洗剤
すべての化学薬品を、使用上の注意に従って正しい方法で保管・使用することは極めて重要です。

化学薬品には毒性や引火性があったり、混ぜ合わせると危険な化学反応を起こすことがあります。

化学薬品の安全な保管・使用方法に関する情報

あなたの家の安全を守るために、NSW 州消防庁は以下の簡単な安全チェックリストを推奨します：

- ✓ 化学薬品を購入する前にラベル表示を読むこと。正しい使用方法と化学薬品の危険性を理解すること
- ✓ 特に子どもがいる家庭では、必要な用途を持つ製品のうち一番危険性の小さいものを選ぶこと
- ✓ 子どもの手が届かない収納棚に化学薬品を入れて施錠すること。一番危険な薬品は、収納棚の底のほうに置くこと。子どもたちは好奇心旺盛で、大人が思いつかない方法を考え出し、高いところに上るのが上手だということを忘れずに
- ✓ 製造会社による使用上の注意に従うこと。化学薬品は慎重に扱うこと。手袋や安全ゴーグルなど、推奨されている保護装備を使用すること。十分に換気した場所で使用すること
- ✓ 雑巾は使用後とゴミ箱に捨てる前に洗浄すること
- ✓ 化学薬品を元の容器に入れて封をすること。すべての容器に表示ラベルを貼り中身を明確に記すこと
- ✓ 薬には、食品や飲料に見えるものもあるということを忘れずに。子どもたちが触れないように施錠して保管すること
- X 化学薬品を混ぜないこと
- X 作業に使用する以上の量の化学薬品を出さないこと
- X 指示された用途以外に化学薬品を使用しないこと
- X 化学薬品を排水溝やトイレや溝に流さないこと

行動

最近薬品の保管場所と容器の封を点検しましたか？

- 古いあるいは残った化学薬品を捨てるために地元のカウンシルに連絡したことがありますか？

参照：http://www.resource.nsw.gov.au/cleanout/chemical_collection.htm

- 応急処置の手順に従ってください。肌や目がひりひりしたり、薬品を飲み込んだり摂取してしまったり、fumes を吸い込んでしまった場合は、すぐに治療を受けてください。
- 毒物ホットライン（POISONS INFORMATION LINE）131 126 を覚えておきましょう。

詳しくは、地元の消防署にお問い合わせいただくか、
ウェブサイトをご覧ください：www.fire.nsw.gov.au

緊急時には 000 をダイヤルしてください